



平成29年3月7日
たつの市立菅田小学校

特別号 (学校評価の報告について)

早春の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、過日は教育活動アンケートにご回答をいただきありがとうございました。子どもへの生活調査と職員の振り返り等を合わせて分析をした評価結果と学校評議員の方々によります学校関係者評価の結果を報告させていただきます。来年度の取組にしっかりと生かしていきたいと思っております。

項目	質問	質問内容	A…そう思う B…どちらかと言えばそう思う C…どちらかと言えばそう思わない D…そう思わない E…わからない					関連する主な事柄
			A	B	C	D	E	
開かれた学校づくり	①	学校は、教育方針や教育活動の様子を分かりやすく伝えている。	49%	45%	3%	2%	1%	菅田小だより・学年通信、ホームページ
	②	学校は、保護者や地域の方が子どもたちの様子を知る機会を設けている。	60%	37%	2%	1%	0%	授業参観、運動会、音楽会、オープンスクール
信頼される学校づくり	③	学校は、保護者からの問い合わせや訪問に対して、ていねいに対応している。	50%	40%	4%	2%	4%	職員の電話対応や接遇
	④	学校は、保護者や地域の声を教育活動に生かそうと努めている。	42%	43%	7%	2%	6%	P T A委員会、教育活動アンケート、学校評議員会(学校関係者評価委員会)
学習環境づくり	⑤	学校は、校舎内外をきれいに、落ち着いた学習環境の整備に努めている。	55%	38%	2%	2%	3%	校内の掲示、清掃活動、奉仕作業、花いっぱい運動、運動場の芝生の維持管理
学力の向上	⑥	学校は、子どもたちに基礎的な学力が身につくように努めている。	55%	38%	3%	3%	1%	授業参観、朝の学習タイム、細かな授業の推進、「勉強の仕方7つの約束」
	⑦	学校は、子どもたちに学習の習慣を身につけさせるとともに、学習意欲を高めようとしている。	44%	39%	7%	2%	8%	算数教室、「家庭学習の手引き」、タブレット活用
道徳教育や人権教育の充実	⑧	学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てることに努めている。	55%	37%	3%	1%	4%	道徳・人権学習、広島平和学習、ふれあい学級、福祉教育(手話・アイマスク体験、リハビリテーションセンターとの交流)、いじめの早期発見・早期対応、サポートルームの活用
	⑨	学校は、子ども一人一人を大切に、いじめのない仲間づくりに努めている。	43%	42%	6%	3%	6%	
生活指導	⑩	子どもは、家族や友だち、地域の人々に進んであいさつをしている。	44%	38%	10%	3%	5%	「ほんだっ子10の約束」、あいさつ運動、連絡帳の活用、教育相談、サポートルームの活用、家庭訪問、生活アンケート、児童会・青少協の看板の修理、スクールカウンセラーの定期的訪問
	⑪	子どもは、楽しく登校している。	66%	29%	3%	1%	1%	
	⑫	学校は、子どもや保護者との連絡や相談に適切に対応している。	57%	35%	3%	2%	3%	
健康教育安全指導	⑬	学校は、子どもが安全で健やかな生活を送れるよう努めている。	54%	44%	1%	1%	0%	防災訓練、P T A児童見守りボランティア、保健室だより、スポーツ活動(陸上、スポーツ少年団)、歯磨き指導
郷土愛・地域との連携	⑭	学校は、地域に対する誇りや愛着を育てるよう努めている。	51%	39%	5%	2%	3%	ウォークラリー、豆腐作り、太鼓づくり、校区探検、スポーツクラブ21
	⑮	学校は、地域の関係団体・施設や地域の方々との連携・交流を積極的に進めている。	56%	35%	3%	2%	4%	菅田・公民館・隣保館等との連携

【結果と考察】

質問番号	分析結果と改善策
①	A・Bと回答された方を合わせると、この3年間91%、94%、91%と高く評価されています。菅田小だよりや学年通信で、日々の児童の学習や生活の様子を詳細にお知らせすることで、教育方針や教育活動を地域や保護者の方に知っていただくことができました。また、学校ホームページのソフト入れ替えが完了して、学校の様子を随時お知らせする事ができるようになりました。今後、地域やP T Aにもホームページ閲覧への案内をしていきます。引き続き、校報・通信・H Pの活用により学校の様子をより分かりやすく伝えていきます。
②	A・Bと回答された方を合わせると、この3年間93%、95%、97%と高く評価されています。運動会、音楽会をはじめ、年4回の授業参観、オープンスクール、ウォークラリーや菅隣保館まつりへの参加で、保護者や地域の方に児童の様子を見ていただきました。来年度も、児童の様子を知っていただく機会を大切にしていきます。
③	A・Bと回答された方を合わせると、昨年の95%から90%と高い評価ではあるが、下がっています。電話対応は、自分を名乗り、明るく丁寧な言葉遣いで行い、保留時間を短くするように努めます。また、来客には、挨拶や声かけなど素早い対応をすることを再度徹底していきます。今後も、保護者や地域の人々の意見・要望等に対しては、全ての教職員が丁寧な対応に努め、開かれた学校、信頼される学校づくりに努めていきます。
④	A・Bと回答された方を合わせると、この3年間86%、88%、85%となっています。上記3項目に比べると評価が低いです。アンケートの記述欄には、「くらしの決まりと努力事項」や児童の減少によるP T A活動や子ども会活動見直しへの記述があり、P T A、子ども会と連携して改善に努めていきます。今後も皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、スピード感をもって対応し、今後も家庭や地域の信頼を得ると共に、連携を深めていきます。

⑤	A・Bと回答された方は、昨年と同じく93%と高い評価を得ました。本校では、玄関や階段の踊り場に花をかざり、運動場の花壇には季節に合った花を植えています。今後も各学級や環境委員会が中心となって花いっぱい運動をすすめ、芝生の維持管理も行っていきます。学習活動の基盤となる教室環境は、掲示物の貼り方や持ち物の整理などにも気をつけ、学習に集中できるように落ち着いた学習環境作りにも努めていきます。
⑥	Aが55%で過半数をこえ、Bと回答された方を合わせると93%と、昨年度の88%を上回り高い評価を得ました。本校は、「確かな学力の確立のため、基礎基本の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育む」を努力事項として取り組んでいます。具体的には、複数の教師が関わるきめ細かな授業の推進、算数教室・サポートルームにおける補充学習の充実に努めてきました。来年度は、「主体的・対話的で深い学び」をさらに推進するため授業研究を深め、一層の学力の向上をめざして取り組んでいきます。
⑦	A・Bと回答された方を合わせると83%と昨年度と同じでしたが、「わからない」と回答された方が4%から8%に増えています。より家庭への働きかけをすることが必要だと考えます。今年度は、基本的学習習慣を確立するため、「朝の学習タイム」の充実や「勉強の仕方7つの約束」の指導の徹底に努め、「家庭学習の手引き」を発行して家庭学習が充実したものとなるよう家庭への啓発を行ってきました。今後は、今年度作成された龍野東中校区「家庭学習の手引き」を活用し、児童が意欲的に学習に取り組めるよう努めていきます。
⑧	A・Bと回答された方を合わせると92%でした。学校では、道徳教育や人権教育を中心に規範意識を培い、他人を思いやる心を育てていこうと考えています。今年度は、児童だけでなく保護者向けにも県警から講師に来ていただきインターネットにおける危険性について講演をしていただきました。また、地域教材を扱った授業を学校内で公開することで、全職員が見直しをもって系統的に人権学習ができるよう取り組みました。来年度も、地域教材を引き継ぎながら、さらなる教材開発に取り組むと共に特別の教科道徳に向けて、新たな授業の展開について研修を深めていきます。
⑨	A・Bと回答された方を合わせると昨年の87%から85%と少し減っています。本校では、特に「縦割り班」を通じた活動で仲間づくりを進めるとともに、子どもたちが気軽に相談や学習にきて、心休める場所となるように設置しているサポートルームで、スクールカウンセラーによる相談も定期的に行えるようにしました。また、実態把握のため、従来の学期に1回の生活アンケートと、今年度から月に1回の心のアンケートを実施して、生活指導や個別の指導に生かしています。今後は実態把握に基づく指導を行っていることを保護者に知っていただき、家庭と学校が連携して、すべての児童が楽しく安心して学校生活を送れるように取り組んでいきます。
⑩	A・Bと回答された方は82%でした。あいさつの指導については、企画委員だけでなく、今年度からは6年生も交代して朝の校門に立ち、児童会の月目標に、「元気よくあいさつをしよう」を3回掲げてあいさつ運動を進めました。児童アンケートにおいては、83%の児童が「自分からあいさつをしている」と回答していますが、さらなる取組が必要です。地域の方からいただくお褒めの言葉やご意見を子どもたちに適宜紹介し、あいさつをして気持ちよかったという実感が得られるようにしていきます。
⑪	A・Bと回答された方を合わせると95%でした。児童アンケートにおいても、96%の児童が、学校が「とても楽しい」「楽しい」と回答しています。多くの児童は、毎日楽しく登校しています。今後はさらに、全教職員で児童への声かけ（頑張りを認めた褒めたりする）や友だち関係の観察、児童理解研修の充実を図るなどして、児童の内面的な理解や課題の解決に努めていきます。
⑫	A・Bと回答された方は92%でした。保護者からの相談を受けた場合は、必要に応じて全教職員で問題点を共通理解し、早期解決できるよう努力しました。1学期末と2学期末の個別懇談（希望者）では、普段の悩みなどを話せる場となり、効果がありました。さらに保護者に「学校では専門家によるいろいろな教育相談を実施している」ことを周知し、充実を図っていきます。また、児童の様子で気になることがあった場合は、その日のうちに連絡帳や電話、家庭訪問等で連絡します。
⑬	A・Bと回答された方を合わせると、98%と高い評価を得ました。避難訓練では、時間帯を授業中や休憩時間などさまざまな時間帯に設定し、自分自身で考え判断し行動できることをねらいとしました。今後もいつ起こるか分からない災害に備えるためにさまざまな時間帯での訓練を実施し、児童自身が考え判断し行動できるように取り組んでいきます。「PTA児童の見守りボランティア」においては、PTAや地域の方々のご協力により、児童の安全を見守っていただき、下校時刻の放送も効果的だと聞いています。保健指導では、歯科衛生士によるブラッシング指導を全学年で行い、給食後の歯みがきを呼びかけています。
⑭	両設問ともA・Bと回答された方を合わせると90%以上の評価を得ることができました。全校児童を縦割り班に分けて行うウォークラリーなどを通じて、今まで知らなかったことを学ぶことができ、非常に意義あるものになっています。また、今年度、自治会からいただいた「誉田町ふるさとマップ」では、親子で新しい発見があったという声を聞いています。誉田町のことを誇りに思う児童をさらに育てるために今後も活用していきます。地域の方々との協力を得て実施している皮革工場見学、革細工、太鼓作り、豆腐作りなどの体験活動は、地域の産業のことをさらに知り、誇りに思える良い機会となっています。誉隣保館まつりへの参加では、自分たちが学習してきたことを地域に発表する場というだけでなく、「革細工」や「誉田町クイズ」などのブースを立ち上げ、地域の方に学習してきたことをさらに発信することができる良い機会になっています。これからも地域との連携・交流を積極的に進めていきます。

【次年度、学校運営に反映する新たな取組み】

①ファイル基準表の効果的な活用（職員会議・分掌引継ぎ事務）②研修計画の見直し（研究授業の計画）③「主体的・対話的で深い学び」の推進④各種委員会開催の見直し⑤自主性を生かした特別活動の推進・縦割り班活動の充実（班遊び・交流清掃・交流給食等）⑥時間割（火曜日、木曜日、チャレンジタイム）、日課（職朝）表の見直し⑦キャリア教育の年間指導計画の見直し⑧ゲストティーチャーによる体験学習、地域との交流学習の整理⑨家庭学習の充実に向けた取組み⑩「くらしの決まりと努力事項」の見直し
--

【学校関係者評価】（自治会、婦人会、老人クラブ、PTA、民生委員 各代表）

・学校だよりや学年通信、HPを通して、情報発信がしっかりとできている。 ・学校行事や教育活動に昨年と違った工夫がされている。 ・地域の方々や保護者と連携していくことの大切さをあらためて感じた。 ・隣保館まつりでの児童の発表が地域の方に知ってもらえる良い機会となっている。 ・運動会における幼児参加の玉入れにより、小学校に兄弟がいない幼稚園児にとっては入学に向けてのいい小学校体験の場になった。 ・運動会のPTA地区リレー選手選考などPTA活動への意見について、見直しへのより一層の協力が大切である。 ・子どもの学習については、家庭での取り組みも大切である。地域住民も機会あるごとに子どもをほめていきたい。登校の時などあいさつはしっかりとできている。見守りボランティア等で、楽しく学校へ通っている様子がよくわかる。 ・学校は様々な取組をしっかりとやっている。 ・適正な自己評価が行えている。
--